

公立受検に向かう君たちへの激励の言葉

いよいよ公立の入試です。私立入試を終えて、入試の雰囲気は体験できたと思いますが、公立合格が本命という人も多いと思います。日頃の成果を出せるよう、落ち着いて試験に集中できるように学校で祈っています。

そして、試験終了後は寄り道せずに、無事に自宅まで帰ってください。
家族はあなたが実力を発揮できることはもちろん、無事に帰宅するまでを心配してくれています。

さて、今日の日を迎えるに当たり、皆さんは進学先をどこにするか、いろいろ親と相談したと思います。「あなたの好きなところへ行きなさい。」という言葉が嬉しくもあり、また真剣に相談に乗ってくれないという響きに感じたりしたこともあったでしょう。

あるいは、自分の行きたいところへ行かせてくれないとか、親の考えを押し付けてくる、行かせるお金が無いと言われたり・・・意見が合わなかったり、言い合いになったり、口を利かなくなったり、いろいろな「やりとり」があったかもしれません。

ですが、ちょっと考えてみてください。

あなたの受験に当たり、高額な受験料を払ってくれたのは誰ですか？

あなたが学校で勉強しているときに、仕事を抜けて銀行や郵便局で受験料を振り込みに行ったのは誰ですか？

そして、合格した後に、入学金、授業料、制服代教科書代・・・数十万近くの入学金を支払ってくれるのは誰ですか？

これらすべてを自分のお小遣いで支払っている人はいないはずです。

親は何だかんだ言っても、あなたのことを大切に思ってくれているのです。

「高いお金を払っていかせてあげるのだから、もう少しは勉強に集中している姿を見せて、親を安心させてほしい」というのも親の本音かもしれません。

ですから、明日の受験がうまくいくこと、無事に帰宅することを、あなたの親は口に出さずとも祈っていることを心の片隅でいいので理解してください。

激励の言葉に替えて、ある親が我が子に宛てた受験への励ましのメッセージをこれから紹介します。

いよいよ受験ですね。中学時代はいつもあなたの周りには素晴らしい人たちがいて、支えてくれていました。あなたが人を大切にするからこそ、あなたも大切にしてもらっているのでしょう。人との出会いやご縁もあなたの素晴らしい財産です。

あなたには素晴らしい資質や支えてくれる人がいるのだから、親は明日の受験も何も心配していません。

素晴らしい資質を十分に発揮して、今少しでも手を伸ばして、あなたの望む世界への切符をつかんでくれることを願っています。

高校も大学も通過点でしかありません。

あなたが成りたい仕事に就き、手に入りたい未来をつかむためのステップです。

そのステップを、できるだけ将来の夢に近い場所まで登ってほしいと思っているのです。

良い場所からスタートしてほしい。

少しでも将来の夢や目標に近い場所に手を伸ばしてほしい。これはどの親でも思う本音です。

今の努力は今しかできません。今だからできる努力を、あなただからできる努力を続けてください。

あなたにふさわしい場所、あなたが楽しく過ごせる場所、自分が自分らしく居られる場所、そんな高校があるはずです。

高校はとても楽しいところです。友人たちとも楽しく過ごせるでしょう。今よりももっとたくさんの時間と余裕が出来ます。

一生付き合える親友に出会えるのも高校生の時だったりするものです。

親は、あなたが素敵な高校生になることを密かに楽しみにしています。あなたの選んだ道は間違っていないと分かっています。いつでも応援していますし、いつでも相談に乗ります。親も高校生という道を進んできて今があるのですから。

明日試験を無事に終えて帰ってくるのを待っています。頑張っておいで。

親より

さあ、皆さん明日の受験を乗り切って、また笑顔で、学校で会えることを楽しみにしています。頑張ってきてください。

校長より